

交通安全情報

令和6年6月号

交通安全協会
沼津地区支部

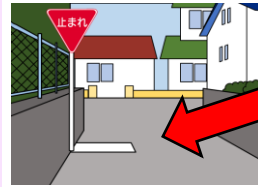


人身事故発生状況 (速報値)

※ () 前年比

| 管内 | 5月中 | 5月末 |
|------|-----------|------------|
| 件数 | 75件 (-8) | 420件 (-22) |
| 死者数 | 0人 (-1) | 3人 (±0) |
| 負傷者数 | 103人 (+4) | 527人 (-15) |

管内で5月中に発生した交通事故のうち、37%が車両同士の出会い頭事故！
(75件中、28件)



一時停止場所では停止線で止まって安全確認！！

詳しくは [静岡県警察 交通事故統計情報](#) をチェック！

梅雨の時期の安全運転

交通事故を防ごう



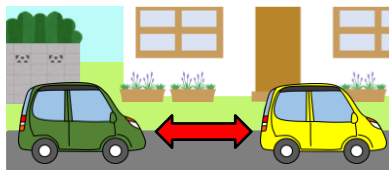
①スピードを控えよう

スピードの出しすぎはスリップ事故に繋がります。心と時間にゆとりを持ち、落ち着いた運転をしましょう！特にカーブの手前では、十分に減速をしましょう。



②車間距離を十分に

濡れた路面では、乾いている場合に比べて、停止に必要な距離が長くなります。車間距離をあげ、前方の車の動きに注意しましょう。



③急ブレーキ・急ハンドルに注意

路面が滑りやすい状態での急ブレーキや急ハンドルは、追突事故やスリップ事故の原因となります。早めのブレーキと、確実なハンドル操作に努めましょう。



④タイヤのチェック

タイヤの溝は雨の日等に車がスリップしないように、路面との間の水を排水する役割があります。溝がすり減ったタイヤは排水性能が低下し危険！定期的にタイヤのチェックをしましょう。



⑤早めのワイパーとガラスの曇り対策

ガラスの曇りや水滴によって車外が見えにくく、歩行者等の発見が遅れる危険があります。車内の除湿や、早めにワイパーを作動し、視界を確保しましょう。



⑥ライトの点灯

ヘッドライトには、前方を明るく照らすだけでなく、『自分の存在を周りに知らせる』役割もあります。雨の日は、明るさや雨量に関わらず、ヘッドライトを点灯しましょう。



周りの歩行者や自転車に、雨水・泥がはねないように注意しましょう！

